

第81回労働政策フォーラム「移動する若者／移動しない若者—実態と問題を掘り下げる—」

問題提起

本田由紀（東京大学大学院教育学研究科教授）

若者の地域移動に関する錯綜するイメージ：流出？地元志向？

「消滅自治体」「地方創生」「出生率向上」「一億総活躍」等々、派手な政策的スローガンが躍るが、その前にまず若者の実状をきちんと把握しておく必要がある。

取り組みたい問い

- どのくらいの若者が移動している／していないのか
- 移動している／していない若者は誰で、なぜなのか
- 移動した／しなかった若者は、どのように生活しているのか
- 若者が明るい展望をもてるようにするには、どのような施策が必要なのか

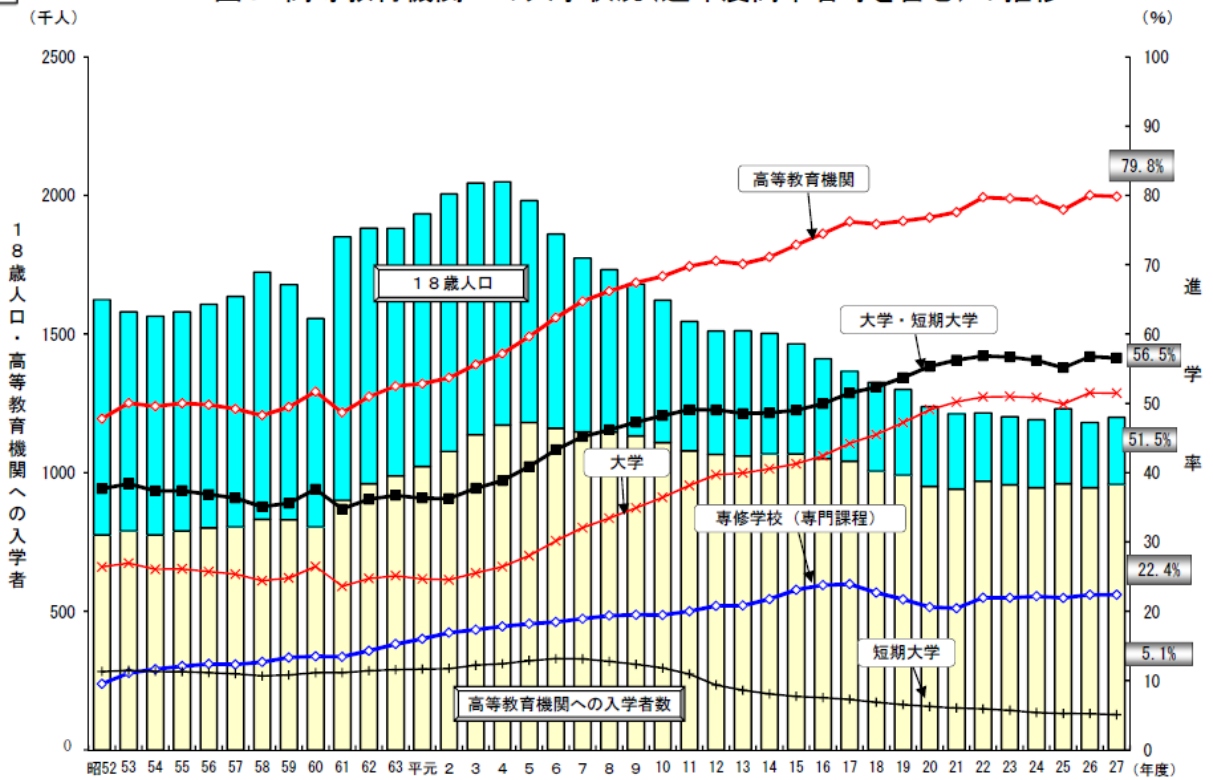
↓

まずおさえておくべき基本的な動向（次ページ以降、図1～4）

4つの詳細な発表、2つのコメントをふまえて、聴衆のみなさんとともに議論を

図1

図3 高等教育機関への入学状況(過年度高卒者等を含む)の推移



(注) 1 18歳人口とは3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者数をいう。
 2 高等教育機関入学者とは、大学学部・短期大学本科入学者(過年度高卒者等含む)、高等専門学校第4学年在学者、専修学校(専門課程)入学者である。また、それぞれの進学率は入学者を3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者で除した比率である。

図2

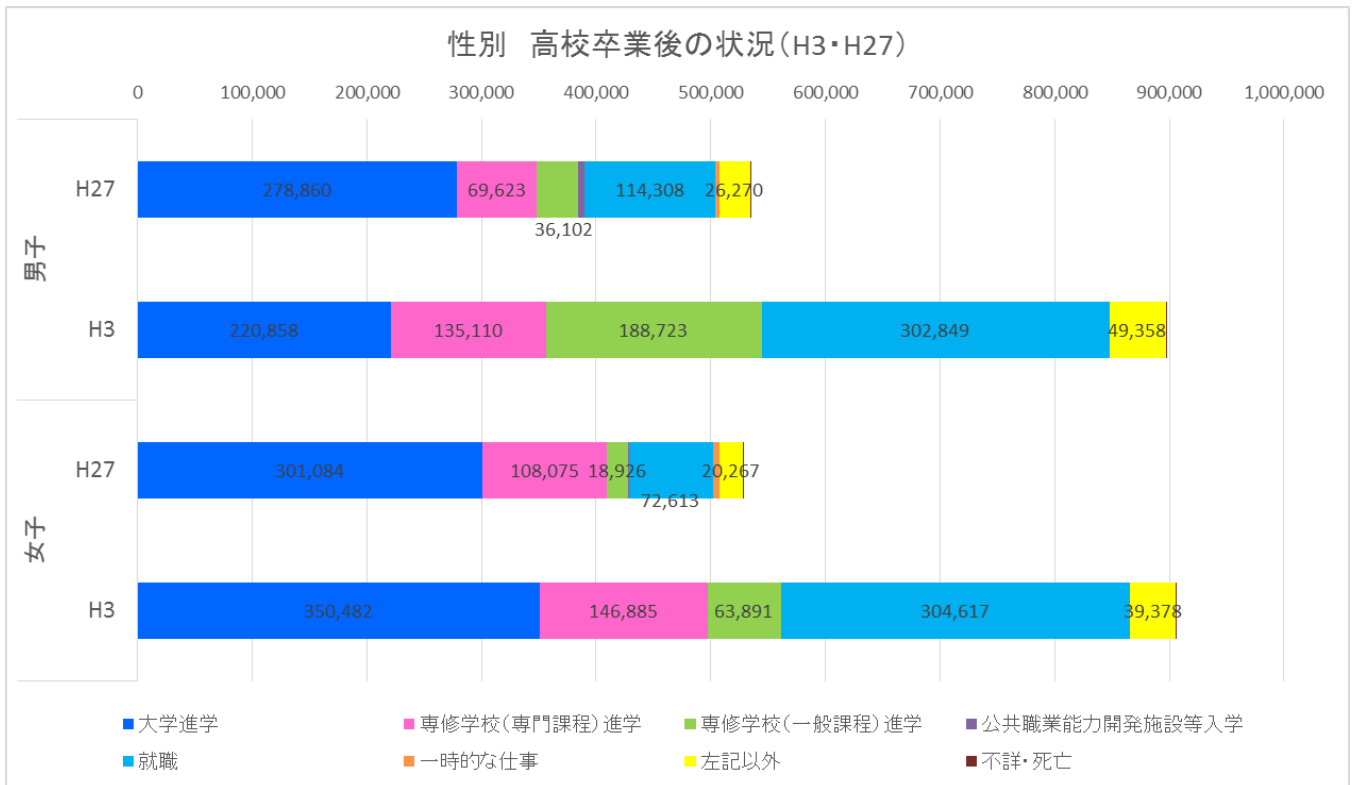


図 3

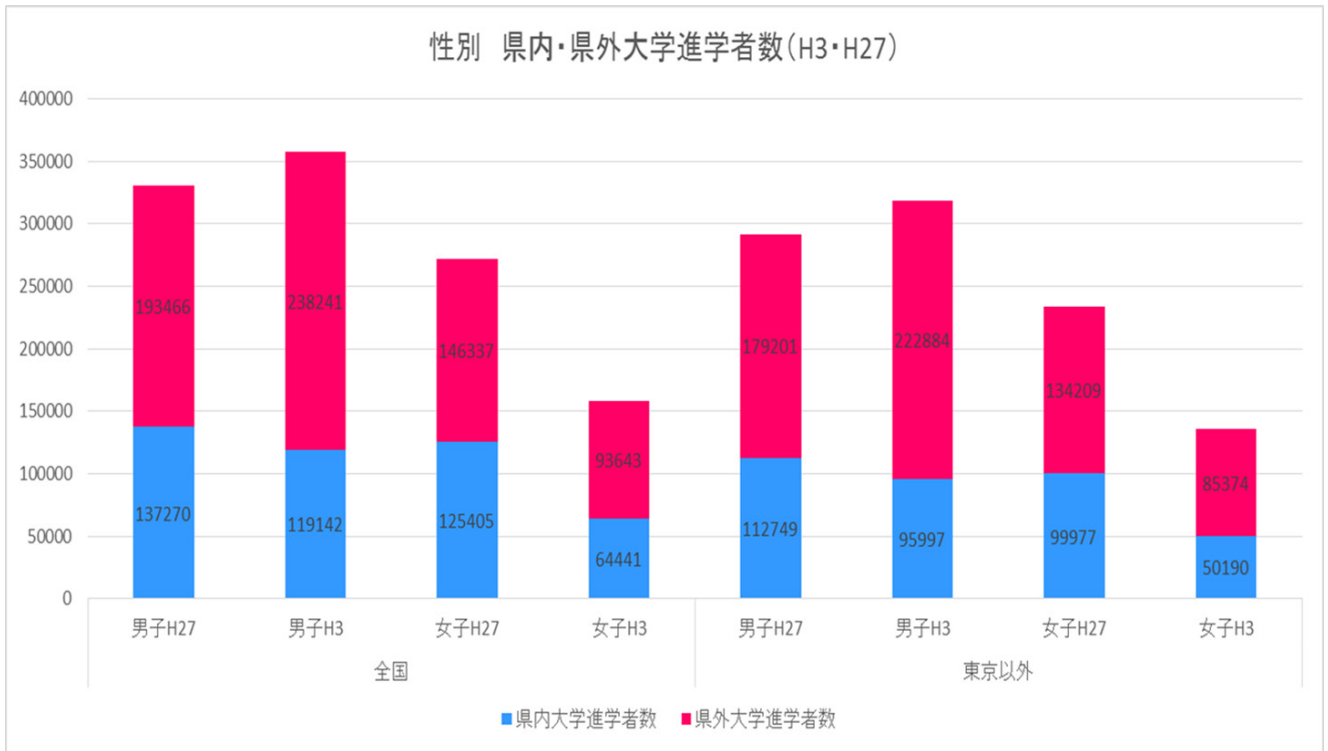


図 4

